

- 6月の米小売売上高は前月比+0.4%と、市場予想を上回った。米10年国債利回りは一時、急上昇したものの、パウエルFRB議長が改めて利下げの意向を示したこともあり、上昇幅を縮小。
- 米小売売上高は底堅く推移しているものの、海外経済の減速基調などもあり、景気減速に対し予防的な利下げが行われるとの市場の見方を変えるものではないことを示したものとされる。

米小売売上高は市場予想を上回る伸び

16日に発表された6月の米小売売上高は前月比+0.4%と、市場予想の同+0.2%（ブルームバーグ集計。以下、同じ。）を上回りました。前月比の伸び率は、速報値の同+0.5%から下方修正された前月の同+0.4%を維持するかたちとなりました。

内訳をみると、ガソリンが同-2.8%と大幅に減少したものの、オンライン小売の同+1.7%を始め、飲食サービスや自動車・同部品などを中心に主要13項目のうち11項目が増加しました。また、振れの大きい自動車・同部品とガソリンスタンドのほか建設資材と飲食サービスを除いた、いわゆる「コア売上高」は同+0.7%と、市場予想の同+0.3%を上回りました。

小売売上高は3月に同+1.8%と、2017年9月以来の高い伸びを記録し、その後も3カ月連続で増加しました。このほか、小売売上高の前年同月比の伸びは、昨年12月に1.4%まで急減速した後、3月以降はおおむね3%台で安定した動きが続いており、緩やかな回復基調にあるとみられます。

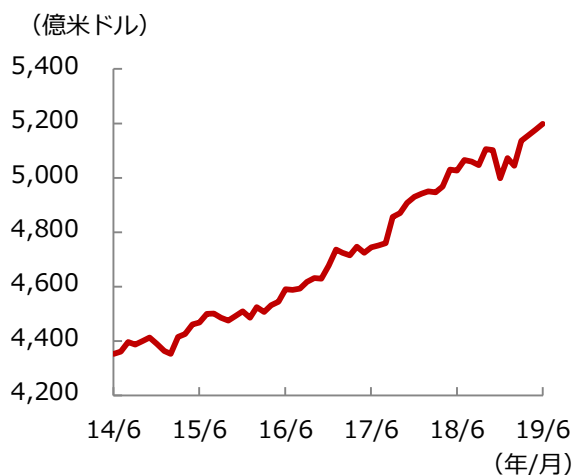
米金利上昇もFRB議長発言などで上昇幅縮小

16日の米国市場では、小売売上高のほか、6月の鉱工業生産のうち製造業の前月比伸び率が市場予想を上回るなど、良好な指標が相次いで発表されたことを受けて、10年国債利回りが前日の2.08%台から一時、2.14%台まで急上昇しました。

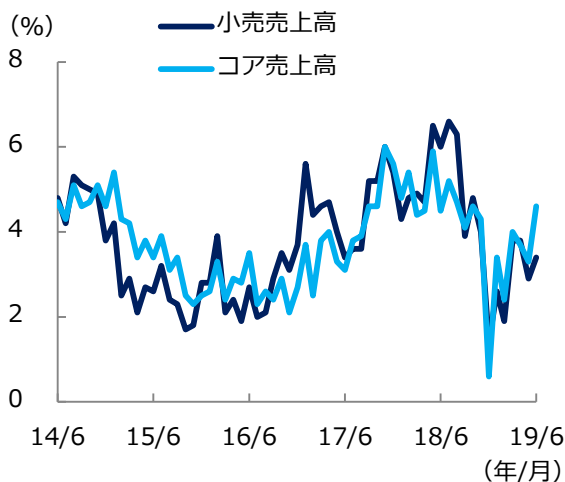
ただし、市場の利下げ期待が根強いとみられるなか、パウエル米連邦準備理事会（FRB）議長が、景気拡大を支えるため適切に行動すると、改めて利下げの意向を示したこともあり、2.10%台で終了しました。

こうした動きは、米小売売上高は底堅く推移しているものの、海外経済の減速基調などもあり、景気減速に対し予防的な利下げが行われるとの市場の見方を変えるものではないことを示したものとされます。

米小売売上高の推移（1）



米小売売上高の推移（2）



出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78% * (税込)

* 消費税率が10%になった場合は、3.85%となります。

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.052% * (税込)

* 消費税率が10%になった場合は、年率2.09%となります。

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

■ その他費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となる場合があります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。